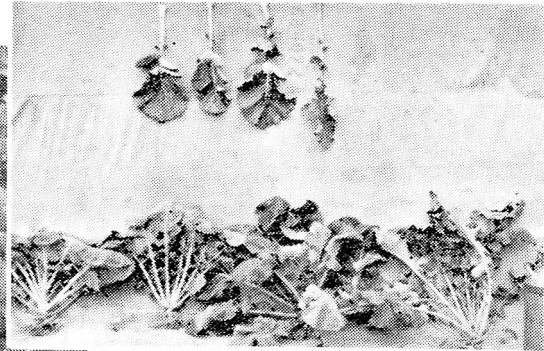


雪印がお奨めする

今後活用したい飼料作物

(4)

農産C・O(シーオー)



農産C・Oは大葉キャベツ(サクセクション)と寒さに強い四月白菜と交配育成した新品種で、寒地、暖地共に秋播して多収、栄養価の高い青刈飼料として利用され貴重なものです。

寒さと雪に強く、弱酸性地、湿田にも良くでき、移植、直播いずれでも良く、又水田裏作、桑園間作、果樹園下作、畑作等全国どこでも栽培できるものです。普通刈取りは開花直前が良く、おけるとやや茎が硬くなり、嗜好もおちますので、まだ他の青刈飼料がないうちに早く利用することが有利でしょう。写真は左からC・O、普通レープ、農産C・O、ハンブルグ一号。

農産C・Oは単播でも多収が期待できますが青刈麦類と間混作しておけば成分的にも均衡のとれた飼料を生産することができます。写真は青刈燕麦と農産C・Oの交互畦播の初期生育状況です。

コモンベッチ

ザイトウィッケンともいわれる一年生のまめ科牧草で、生育が早く、蔓になつて伸びるので、青刈麦類(エンバク、ライ麦)やイタリアンライグラス、アルサイククロバーの混播相手として大いに利用され、蛋白の多い青刈作物を生産することができます。写真下はレンゲ、赤クロバーの代替として注目を集めたコモンベッチの繁茂状況です。



緑肥としても極めて効果が大きく、又非常に作り易いので、水田裏作、麦類の飼料転換畑、桑園の間作などに容易に取入れられ、耐寒性も強いので、暖地では秋播して翌春単播でも反当四、〇〇〇(五、〇〇〇)キは楽に収穫出来るなどすぐれた特徴をもっております。

寒冷地でも秋播できますが、専ら春播として、主に青刈燕麦と混播し、燕麦の収量並びに飼料価値の増加に役立っております。とくに寒さの強い所では、コモンベッチよりも耐寒性の強いヘアリーベッチとライ麦の混播をお奨めします。写真上はコモンベッチに青刈燕麦混播の初期成育状況です。